

ドクターズコスメ市場に関する調査を実施(2016年)

～2015年度の市場は機能の再評価とインバウンド需要によって拡大～

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内ドクターズコスメ市場の調査を実施した。

1. 調査期間:2016年10月～11月
2. 調査対象:化粧品ブランドメーカー、化粧品原材料メーカー・商社、流通業者等
3. 調査方法:当社専門研究員による直接面談、電話によるヒアリング、郵送アンケート、文献調査併用

<ドクターズコスメとは>

本調査におけるドクターズコスメとは、医師が開発・研究に参加している化粧品、もしくは、皮膚科・整形外科・美容外科などの医療施設で販売または紹介している化粧品をさす。

【調査結果サマリー】

◆ 2015年度国内ドクターズコスメ市場規模は前年度比104.9%の899億円

2015年度の国内ドクターズコスメ市場規模は、前年度比104.9%の899億円(ブランドメーカー出荷金額ベース)と拡大した。2013年度に主要ブランドの低迷などにより一時成長率が鈍化したが、2014年度以降、拡大基調にある。概して通信販売が好調であるほか、機能性を付加した製品の投入、ドラッグストアや百貨店などで取扱のあるブランドに関しては、一部インバウンド(訪日外国人客)需要の取り込みによる寄与もあったものとする。

◆ エイジングケアや美白といった機能強化製品が今後の成長要因に

2016年度の国内ドクターズコスメ市場規模は、前年度比102.0%の917億円(ブランドメーカー出荷金額ベース)を見込む。スキンケア製品を中心としたドクターズコスメは、肌トラブルのある人や、敏感肌や乾燥肌などに悩む人にとって必要な製品である一方、エイジングケアや美白といった機能強化が進んでいることなどから堅調な動きがづくものとみる。また、ドクターズコスメの特性に再び関心が高まっていることに加え、一部ではインバウンド需要を取り込める状況にある。

◆ 資料体裁

資料名:「ドクターズコスメマーケティング総鑑 2016-2017年版」
発刊日:2016年11月30日
体裁:A4判 334頁
定価:150,000円(税別)

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝
設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL:<http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

2015年度の国内ドクターズコスメ市場規模は、前年度比104.9%の899億円(ブランドメーカー出荷金額ベース)と拡大した。2013年度に主要ブランドの低迷などにより一時成長率が鈍化したが、2014年度以降、拡大基調にある。この背景にはドクターズコスメの肌トラブルを改善に導く、あるいは悪化を防ぐという基本的な特性に加え、一般化粧品でも消費者ニーズの高いエイジングケアや美白などの機能性を付加した製品の投入が大きな要因であるものとみる。またドラッグストアや百貨店などで取扱のあるブランドに関しては、インバウンド(訪日外国人客)需要の取り込みによる寄与もあったものとする。

製品カテゴリーとしては、スキンケア製品が全体市場の大勢を占めており、主力製品であることに変わりはないが、メイクアップやヘアケア、ボディケア製品の品揃えを強化する動きも徐々に強まっている。

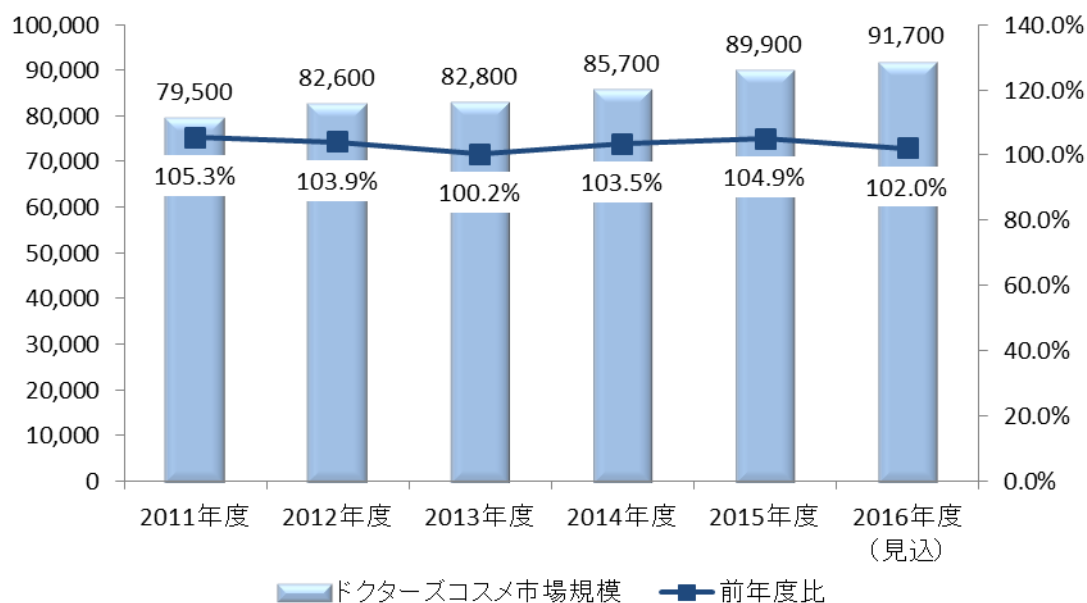
またチャネル別でみると、概して通信販売が好調であるほか、ドラッグストアやバラエティストアなどの一般品流通、医療施設などの医家向け流通といったいずれのチャネルにおいても、前年度を上回る好調ぶりを示した。

2016年度の国内ドクターズコスメ市場規模は、前年度比102.0%の917億円(ブランドメーカー出荷金額ベース)を見込む。スキンケア製品を中心としたドクターズコスメは、肌トラブルのある人や、敏感肌や乾燥肌などに悩む人にとって必要な製品である一方、エイジングケアや美白といった機能強化が進んでいることなどから堅調な動きがつづくものとみる。また、一般的に敏感肌を自覚する女性が増えているといわれるなか、ドクターズコスメの特性に再び関心が高まっていることに加え、海外でも認知度の高い一部ブランドでは、インバウンド需要を取り込める状況にある。

国内の化粧品市場全体の成長性については今後、大きな成長が見込みにくいことから、ドクターズコスメ市場のみが大きく伸長することは考え難い一方で、肌トラブル改善に加え、消費者ニーズの高い機能性を更にプラスすることで、今後も期待できる市場であるものとする。

図1. 国内ドクターズコスメ市場規模推移と予測

(単位:百万円)



矢野経済研究所推計

注1. ブランドメーカー出荷金額ベース
注2. (見込)は見込値